

目次

「家族の日」「家族の週間」のあらまし	P1
家族や地域の大切さに関する作品コンクールのあらまし	P1

写真の部

最優秀賞、優秀賞 受賞作品

① 子育て家族の力	P3
② 子育てを応援する地域の力	P5

手紙・メールの部

最優秀賞、優秀賞 受賞作品

① 小学生の部	P6
② 中・高校生の部	P9
③ 一般の部	P12

「家族の日」「家族の週間」のあらまし

「子どもの育ちを支え、若者が安心して成長できる社会」を目指し、多様な家庭や家族の形態があることを踏まえつつ、生命の大切さ、家庭の役割等についての理解を深めることが重要です。

そのため、内閣府では、地方公共団体、関連団体と連携・協力して「家族の日」「家族の週間」を中心に各種行事を実施し、子育てを支える家族と地域の大切さを呼びかけています。

平成
23年度

〈家族の日〉 11月20日(日) <11月第3日曜日>

〈家族の週間〉 11月13日(日)～26日(土) <家族の日の前後各1週間>

家族や地域の大切さに関する作品コンクールのあらまし

このコンクールは「家族の日」「家族の週間」の一環として、家族や地域の大切さに関する「写真」及び「手紙・メール」を公募し、優秀な作品を表彰することにより、家族や地域の大切さに対する理解と関心を高めることを目的としています。

話し合いの"きっかけ"に

- テーマは、子どものこと、家族のこと、地域のこと、そして将来のこと。このコンクールの応募をきっかけに、夫婦で、親子で、家族全員でいろいろなことを話し合ってもらうことが目的です。
- 応募作品の制作を通して、生命を次の世代に伝え育てていくことの尊さ、かけがえのない家族の存在価値、そして誰もが安心して、結婚し子どもを生ま育てることの素晴らしさを確かめ合ってみてはいかがでしょうか。

テーマ & 応募資格・区分、応募期間・応募方法

写真の部

テーマ

- ① 子育てで家族の力
(子育てで家族のきずな、子どもと深める家族のきずな)
- ② 子育てを応援する地域の力
(地域ぐるみで子育て支援)

応募資格：小学生以上の者（プロカメラマンを除く）
応募期間：平成 23 年 7 月 1 日（金）～ 8 月 22 日（月）

手紙・メールの部

テーマ

- 子育てを家族みんなで支え合うことの大切さ、感謝などの思いを伝えるもの
- 子育てを社会も応援していくことの大切さを訴えるもの

応募区分：①小学生の部 ②中・高校生の部 ③一般の部
応募期間：平成 23 年 7 月 1 日（金）～ 9 月 7 日（水）

応募方法：郵送（手紙・メールは電子メール、インターネットでの応募も可）

募集結果

写真の部
手紙・メールの部
テーマ① 54点 テーマ② 15点
応募区分 ①小学生の部 14点 ②中・高校生の部 72点 ③一般の部 95点

審査方法

写真の部

1. 予備審査

予備審査基準

- 親しみやすいものであること
- 子育てを支える家族や地域の大切さに対する国民の関心を高めるものであること
- 「家族の日」「家族の週間」の趣旨に沿ったものであること
- 写真と、タイトル及びエピソードの調和がとれていること
- 国民に不快感を抱かせるような内容ではないこと

2. 本審査

予備審査で選出された作品を本審査基準に基づいて、3名の審査委員により加点方式でまず審査いただき、審査委員会でその採点結果をもとに、審査しました。

テーマ性

- ① 募集テーマ「家族や地域の大切さ」に則している
- ② 明るい夢や希望が感じられる
- ③ 作者独自の家族観・地域観がうかがえる

表現力

- ① テーマを十分に表現し伝えている
- ② 見る人を引き付ける魅力を備えている
- ③ 作品としてのクオリティ
- ④ 作品のオリジナリティが伝わってくる

総合力

- ① 写真と、タイトル及びエピソードの調和がとれている

手紙・メールの部

1. 予備審査

予備審査基準

- 文章が分かりやすく、読み手が理解できること
- 文の構成にまとまりがあり、訴える内容がはっきりしていること
- 子育てを支える家族や地域の大切さに対する国民の関心を高めるものであること
- 「家族の日」「家族の週間」の趣旨に沿ったものであること
- 読み手に感動や感銘を与えるものであること

2. 本審査

予備審査で選出された作品を本審査基準に基づいて、5名の審査委員により加点方式で審査しました。

テーマ性

- ① 募集テーマ「家族や地域の大切さ」に則している
- ② 明るい夢や希望が感じられる
- ③ 作者独自の家族観・地域観がうかがえる

表現力

- ① テーマを十分に表現し伝えている
- ② 見る人を引き付ける魅力を備えている
- ③ 作品としてのクオリティ
- ④ 作品のオリジナリティが伝わってくる

総合力

- ① 文章がわかりやすく、読み手が理解できる
- ② 構成にまとまりがある
- ③ 意味を十分に理解している

賞

- 写真の部門は、募集テーマごとに、最優秀賞1点、優秀賞5点以内
いずれも内閣府特命担当大臣（少子化対策担当）表彰
- 手紙・メールの部門は、応募区分ごとに、最優秀賞1点、優秀賞5点以内
いずれも内閣府特命担当大臣（少子化対策担当）表彰

審査委員

写真の部

カメラマン

渡部 陽一

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

奥山 千鶴子

NPO法人びーのびーの理事長

NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

安藤 哲也

手紙・メールの部

聖マリア学院大学教授・医療福祉研究所長

橋本 武夫

お茶の水女子大学客員教授・名誉教授

内田 伸子

千葉大学大学院教育学研究科教授

明石 要一

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授

坂元 章

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事

NPO法人せたがや子育てネット代表

松田 妙子